

**令和7年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（建築）】**

専門論文試験課題

<課題>

県有建物は、多くが昭和40～50年代に整備されており、現在、老朽化の問題を抱えています。これらは、同時期に整備されており、今後一斉に改修や建替えの時期を迎え、それが長期間続き、多額の費用を要すると見込まれているため、財政負担の低減化・平準化を図る必要があります。加えて、少子高齢化の進展に伴い、本県の人口はおよそ20年後に約8割、およそ50年後に約5割に減少することが見込まれており、将来的により厳しい財政状況が懸念されます。また、こうした人口構成の変化から公共施設に対する県民の利用ニーズが変わることも予想されます。

このように公共施設を取り巻く状況が大きく変化する中で、本県は、今後の維持管理・更新・統廃合・長寿命化の取組や施設配置・総量の最適化などに関する基本的な方針を「宮崎県公共施設等総合管理計画」に定めています。

建物は、一旦整備すると長期にわたって維持管理をしていく必要があるため、人口減少に備えて県有建物の維持管理・更新等に要する財政負担の低減化・平準化を図っていくには、今から戦略的に取組を考える必要があります。建築技術職員一人一人の考え次第で未来のピンチはチャンスへと変わります。

そこで、今後考えられる県有施設の維持管理・更新等における課題を挙げた上で、その解決に向けてあなたが取り組みたいことを述べてください。